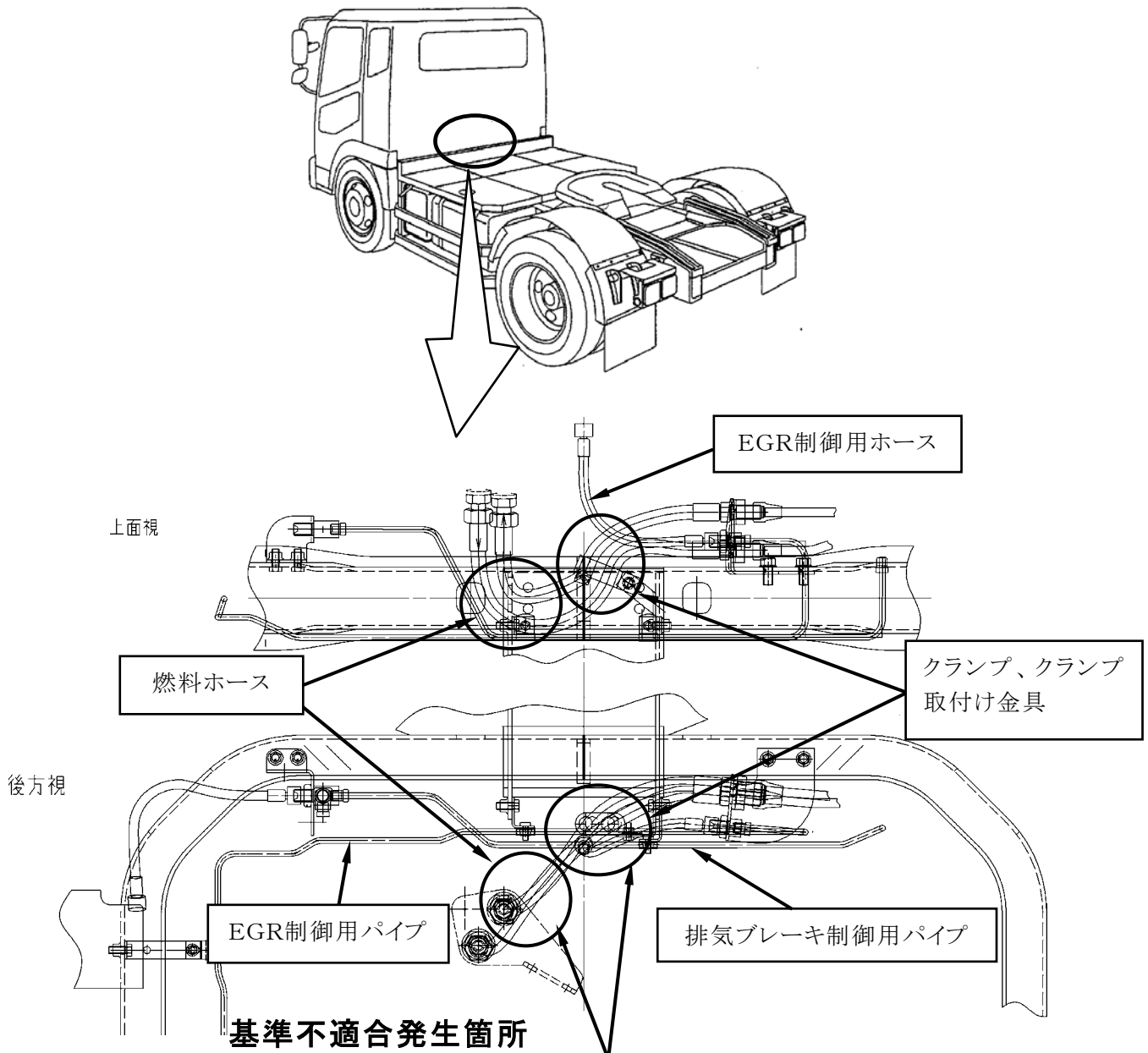


改善箇所説明図



- ①大型トラックにおいて、エンジンと燃料フィルタ間の燃料ホースの組み付けが不適切なため、エンジン振動等により、当該ホースが排気ガス再循環装置（EGR）制御用ホースと干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料ホース又はEGR制御用ホースに穴があき、最悪の場合、燃料が漏れる、又は排出ガスが規制値を超えるおそれがある。
- ②大型トラックにおいて、エンジンと燃料フィルタ間の燃料ホースを固定するクランプの強度が不足しているため、エンジン振動等により、当該クランプが変形、亀裂、折損するものがある。そのため、クランプと燃料ホース、燃料ホース同士、燃料ホースと排気ガス再循環装置（EGR）制御用ホースが干渉し、そのままの状態で使用を続けると、燃料ホース又はEGR制御用ホースに穴があき、最悪の場合、燃料が漏れる、又は排出ガスが規制値を超えるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料ホース、EGR制御用ホース、EGR制御用パイプ、排気ブレーキ制御用パイプ、クランプ及びクランプ取付け金具を対策品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラー스트ライカー付近に「HD-54」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。